

平成26年第9回 大山町教育委員会 議事録

日 時 : 平成26年7月22日 (火)

午後3時～

場 所 : 名和公民館 第1会議室

出席委員	1番	湊谷紀子	2番	林原浩子	3番	金田吉人
	4番	小原康正	5番	山根 浩	6番	伊澤百子

その他の出席者 教育次長(齋藤)、幼児教育課長(林原)、社会教育課長(手島)、
学校教育課 課長補佐(角田、佐藤)

参観人 0人

日 程

1. 開会宣言 (午後3時)

委員長 ただいまより第9回大山町教育委員会を開会する。
日程については、配布資料のとおりである。

2. 議事日程の報告

委員長 会議時間については、15時より終了目標を16時30分としたい。

日程第1 会議時間の決定

自 午後3時 至 午後4時30分

日程第2 教育長報告並びに連絡事項

教育長 6月26日～7月22日までの報告事項、8月1日までの今後の予定について説明。

- 6月26日には、鳥取県町村教育長会総会及び研修会が鳥取市であり、8月21日に中国地区の町村教育長会が鳥取市で開催することとなったので報告する。
- 28日には、モラロジー生涯学習講演会が生活想像館で開催されたので出席した。
- 30日には、町内の小中学校長との面談を行った。どの小中学校とも校長先生をはじめ職員全体で頑張っており取り組んでいる。
- 7月1日には、中山みどりの森保育園で計画訪問があり、園児のはつらつとした行動が印象的だった。
- 7日には、平井知事との伸び伸びトークがまぶやであり、移住定住施策への取組状況について意見交換があった。専門的な知識をもつ方が活動されている団体はこれからの活動を進めるなかでメリットがたくさんあるように感じた。
- 8日には、絵本作家のチャンキー松本さんといぬんこさんが来庁された。10月～11月に、町内にしばらく滞在されて大山町のアニメーションを作成されるということで、今回は準備のために1週間ほど来町された。見る人を魅了するパフォーマンスを即興でされてとても印象的だった。

- 10日には、台風で心配されたが、鳥取県教育委員会研究協議会定期総会並びに研究大会が予定どおり倉吉市で開催され、自分と4名の教育委員さん、教育次長の6名で参加した。
- 15日には、第1回西部町村教育行政広域連携推進研修会が南部町の西伯病院で開催され、自分と2名の教育委員さん、教育次長、社会教育課長、幼児教育課長の6名で参加した。
- 16日～17日の2日間にかけて町長、議会の教育民生常任委員のみなさんと沖縄県の嘉手納町に行政視察交流訪問を行った。友好活動を始めて26年経過したが、このような訪問は今回が初めてであった。むこうの町長さんをはじめ職員、町民のみなさんから熱烈的な歓迎を受け感動した。同時に嘉手納の現状について実際に現地で話を聞いたことは参加したわれわれには有意義なものであったと思う。
- 今後の予定としては、明日伯耆町で西伯郡小学校水泳大会が開催され、24～25日にかけては文化財保護審議会の視察研修に社会教育課の職員と一緒に同行する。また、28日～8月8日にかけてテメキュラ市交流事業訪問団の一行が渡米される。28には大山口列車空襲慰霊祭並びに平和記念の集いが大山公民館で行われる。

委員長 先ほどまでの報告事項のなかで委員さんから何か意見等あるか。

委員 報告事項のなかにモラロジー生涯学習講演会とあったが、モラロジーとはどういう内容か。

教育長 社会教育団体として国からも認可されて活動されている団体で、社会貢献をすぐに実践できるよう日頃から講演会活動等実施されており主に中山地区の方を中心に活動されている団体です。

委員長 今年度のテメキュラ市交流事業訪問団の中学生の参加者の内訳はどのようになっているか。

学校教育課
課長補佐 中山中3名、大山中2名、名和中2名、計7名ですべて女子の参加者となっている。

委員 28日の大山口列車空襲慰霊祭は小学校の児童参加もあり年々参加者が増えている。取り組みとしていい傾向だと思う。

日程第3 協議

今後の学制等のあり方について（教育再生実行会議第五次提言）

教育次長より「今後の学制等のあり方について（教育再生実行会議第五次提言）」について関係資料をもとに説明。

教育長より「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」について関係資料をもとに説明。

3. その他

保育園の施設整備についての対応について協議。

4. 次回の開催日程 平成26年8月18日 午前9時30分～

5. 閉会宣言（午後4時30分）